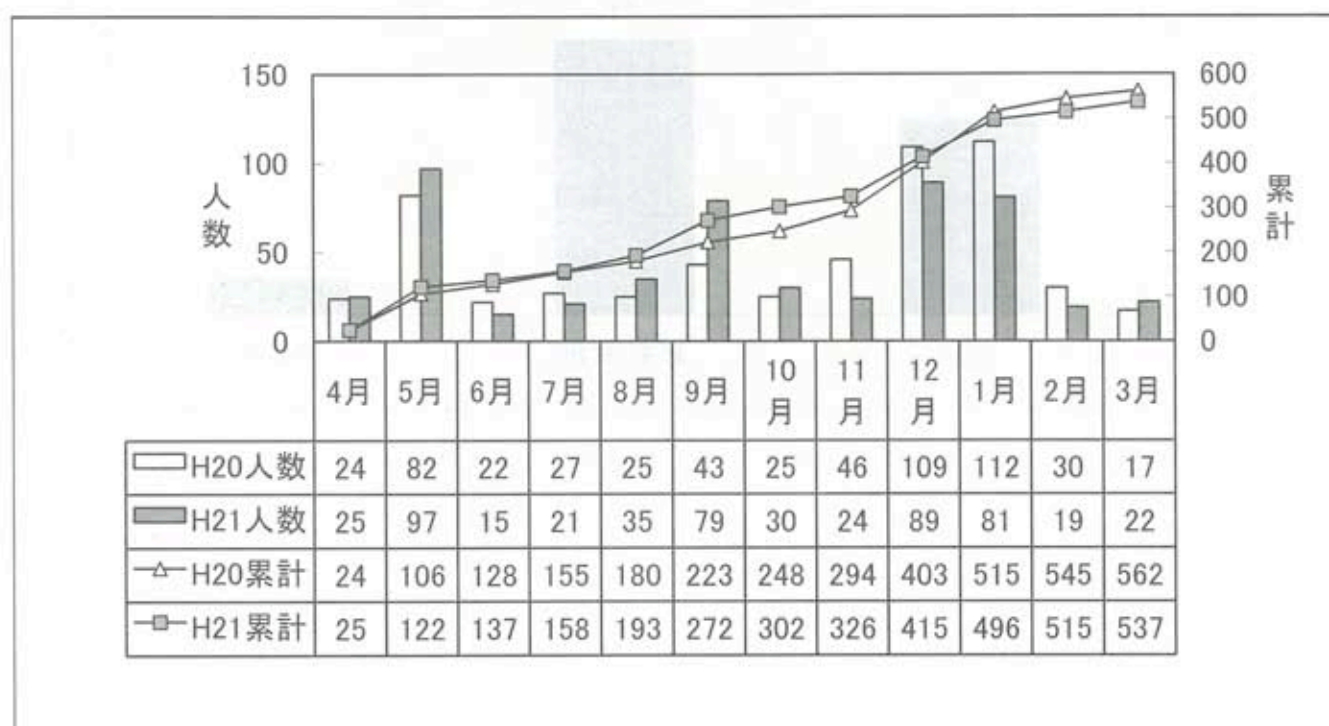


平成21年度 歯科在宅当番医制事業報告

1. 受診者数推移および累計



平成21年度の診療総日数は71日で、受診者総数は537名であった。但し、ゴールデンウィークおよび年末・年始は複数機関で対応したため、総医療機関数は83機関であった。

月別に受診者数をみていくと、5月、12月、1月が多く、これは例年と同じ傾向にあった。

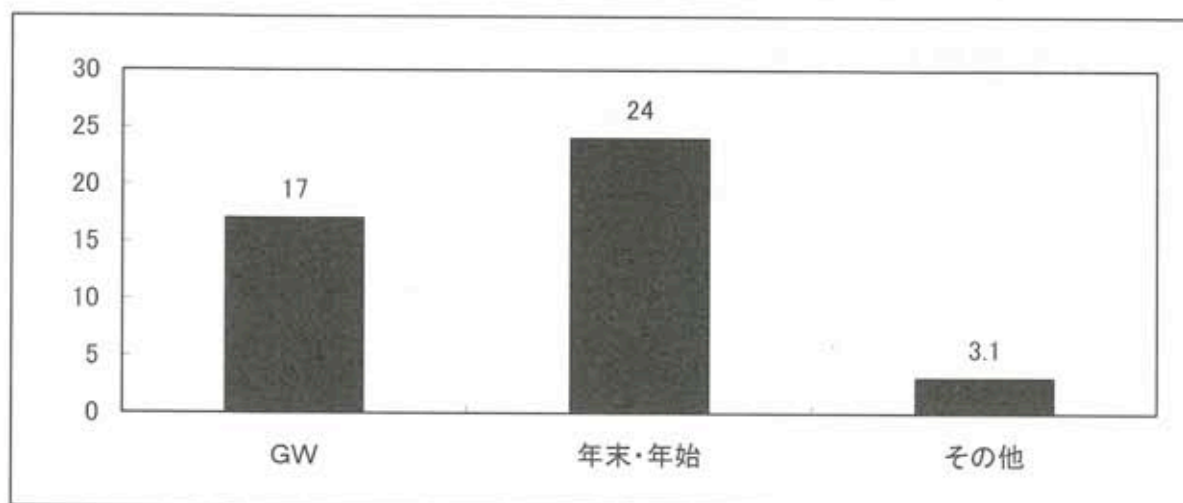
しかし、平成21年度の特徴としては、9月が平成20年度の43人に対して79人と約2倍近い方が受診していた。

また8月、9月、10月の受診者数が前年度に比べ多く推移していた。

一方、受診者総数は平成20年度は562名、平成21年度は537名と25名減少した。

平成21年度の受診者内訳は男性285名、女性252名と男性の受診者数が多かった。（平成20年度の受診者内訳は男性282名、女性280名）

2. 1医療機関あたりの1日平均受診者数



受診者数の最小は0名が3日、最多は30名（12月30日の2機関の合計）であった。

1日あたりの受診者数が10名を超えた日は16日あり、ゴールデンウィークと年末・年始がそのうち9日を占めた。

ゴールデンウィーク期間にあたる5日間では合計85名が受診した。

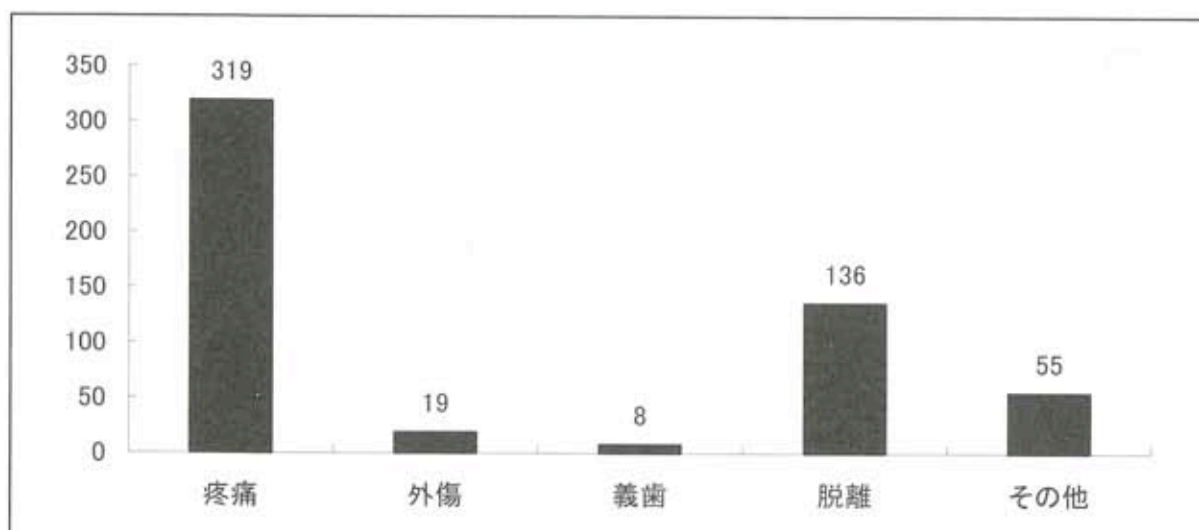
（4/29・・・10名、5/3・・・16名、5/4・・・27名、5/5・・・20名、5/6・・・12名）

これは、平成20年度の82名に比べ、多い結果であった。

年末・年始にあたる5日間では合計120名が受診し、（12/29・・・9名、12/30・・・30名、12/31・・・26名、1/2・・・29名、1/3・・・26名）平成20年度の158名に比べ、少ない結果であった。

ゴールデンウィークおよび年末・年始の期間を除く1日平均受診者数は3.1名であり、平成20年度の5.4名よりも少なかった。

3. 主訴別分類



主訴別に来院理由をみると、「疼痛」が最も多く319名で、次いで「脱離」が136名であった。

これは平成20年度と比較し、同様の傾向であった。